

	<p>号外</p> <p>昭和34年4月1日</p> <p>第3種郵便物認可</p>	<p>定価1部2円</p>	<p>No.2545</p> <p>2019年</p> <p>12月20日</p>	<p>確定闘争の成果となる差額支給、通勤手当距離区分改定の確認を。継続課題は春闘につなげよう。</p>
		<p>発行所</p> <p>盛岡市内丸10番1号</p> <p>岩手県庁内</p> <p>岩手県職員労働組合</p>		

給与改定・手当改正等

12.20改正給与条例・規則公布

2019 給与改定 差額支給は12月26日

1月から交通用具利用距離区分新設・45km以上引上げへ =2020春闘要求に向け「春闘アンケート」に切実な要求を！=

県議会は、12月定例会最終日の12月11日に給与条例を可決した。今年の賃金改定が4月に遡及して適用となり、このことに伴う差額支給を12月26日に行う見通しとなった。今年の給与改定は月例給のみであり、かつ30歳台半ばまでの若年層を中心とした改定にとどまるため、中高年齢層職員の賃金改善が課題。昇給昇格運用の改善をはじめ、あらゆる年代で勤務意欲が確保できる対応を引き続き求めていかなければならない。

併せて、交通用具利用の通勤手当に関し、距離区分上限を90km以上に引き上げ、上限額を49,300円とする改定も成立、1月から改定される。12月20日公布の県人事委員会規則では、距離区分ごとの改定額も示された（詳細は右表のとおり）。

交通用具利用・通勤手当額 (単位:円)

距離区分 (km)	現行	改正後	
	手当額	手当額	引上額
45 ~ 50	25,800	25,900	100
50 ~ 55	28,400	28,500	100
55 ~ 60	30,800	31,100	300
60 ~ 65	33,000	33,700	700
65 ~ 70	35,000	36,300	1,300
70 ~ 75	新設部分 (引上額は現行上限35,000円との比較)	38,900	3,900
75 ~ 80		41,500	6,500
80 ~ 85		44,100	9,100
85 ~ 90		46,700	11,700
90 ~		49,300	14,300

もっとも、高速道路利用の手当改善、パーク&ライドは継続課題となっており、通勤手当の自己負担解消の課題はまだ残っている。さらに、確定闘争では、国追随の住居手当の改悪を阻止したものの、家賃高騰を理由とした改善は継続課題のまま。賃金・諸手当改善や勤務意欲策など継続となった課題の前進に向け取り組みを強化していく。

現在、自治労県本部提起の「2020春闘アンケート」の取り組みを進めている。要求と職場実態の報告をお願いします。

職員配置への影響は？ 来年4月組織再編へ

県議会12月定例会において、来年4月から「秘書広報室」・「政策地域部」を「政策企画部」・「ふるさと振興部」に再編する「岩手県部局等設置条例の一部を改正する条例」が可決された。当局の議会説明では、「いわて県民計画」遂行に向けた体制強化と説明している。もっとも来年度の職員体制等は検討中としている。企画部門中心の組織再編であり、更なる重点配置のため、各職場（現場）から人員が割かれるのではと懸念の声もある。県職労は、各職場の欠員解消と業務量に見合う人員配置となっているか再確認し、組織再編に伴う人員配置で新たな課題が生じないよう取り組みを継続する。

管財課運転技士/新規採用に向け検討

11月27日、現業評議会は山崎管財課総括課長と交渉を行い、管財課（車庫）の退職者補充の方針について、確認を行った。管財課から、「2020年度に向け運転技士の新規募集を検討」（正式には県HP上での募集開始時に



改善求める現業評交渉団（左）・見解示す管財課当局（右・左側が山崎管財課長）

確定)、「運転技士の長期的な計画は人事課とも継続して協議する」とした。現業評は、新規採用の方向を了とし、県庁車庫の業務量増に伴い現行16人体制からの拡充に向け、継続した新規採用を要請した。

運転技士の新規採用となれば14年ぶり。現業・非現業一体となった職場決議の取り組みや粘り強い交渉の成果だ。もともと、土木部運転技士の新規補充方針は当局（県土整備部）から依然示されていない。現業評議会は、土木部運転技士の完全補充、試験研究機関の技能員の増員を求め交渉を進めていく。



県議会12月定例会 柳村 一 県議 県職労推薦 一般質問で課題訴える

県職労推薦の柳村 一（まこと）県議（滝沢選挙区）が12月4日一般質問に登壇し、県職員の確保、メンタルヘルス対策等について改善を訴えた。県職労課題に関連しており、要求・交渉で改善を求めていく。

項目	質問事項	当局答弁（答弁は要約しています）
・人員確保策と専門職の配置	・採用予定者の充足率と傾向は。 ・専門職の配置の在り方は。	（総務部長）一般行政・心理・林学等は充足できる見通しも。 <u>社会福祉・総合土木は採用予定に満たない見通し</u> 。民間企業との競合から技術系受験者が少ない。採用受験者の確保を強化。 来年度の具体的な組織体制は検討中。兎相は増員、 <u>総合土木は台風災害対応等の業務増に対応できるよう定数配置を検討</u> 。
・職員の健康管理	・職員のメンタル、ハラスメント対策は。	（総務部長）精神科嘱託医・臨床心理士の個別相談を段階的に充実。法改正を踏まえ、 <u>新たなハラスメント防止の基本方針の策定を検討中</u> 。ハラスメント防止に向けた対策を講じる。

年末年始の事故等には十分にお気を付けください

年末年始は出かける機会が増え、いつにも増して車の運転は注意が必要です。「じちろうマイカー共済」加入の方は、事故の際に①救命救急、②警察へ通報、③共済の緊急連絡へ！（24時間・365日受付）

自治労マイカー共済事故受付センター フリーダイヤル 0120-0889-24
自治労マイカー共済ロードサービス フリーダイヤル 0120-889-376